

令和6年度 第1回岡崎市文化財保存活用地域計画協議会

開催日時：令和7年3月18日（火） 午後2時00分～午後3時00分

開催場所：岡崎市役所西庁舎7階 701号室

出席委員：15名

瀬口哲夫委員（会長）・杉野丞委員（副会長）・島津達雄委員・野本欽也委員・三浦正幸委員・靱井泰晴委員・河内利弘委員・八木則行委員・早川久右衛門委員・深田賢之委員・浅岡宏司委員代理・加藤健一郎委員・鈴木洋人委員・松澤耕委員・二村雅志委員

欠席委員：0名

説明のために出席した事務局職員：5名

社会教育課：田中典子社会教育課長・原林基昭社会教育課副課長・遠藤研吾岡崎城跡係係長・岡山幸男文化財係係長・武田穂波文化財係主査

傍聴者：なし

議事内容

1 議題

- (1) 岡崎市文化財保存活用地域計画の事業進捗について

議題及び議事の要旨

1 報告事項

岡崎市文化財保存活用地域計画の事業進捗について

【社会教育課説明】

岡崎市文化財保存活用地域計画について、令和6年度の事業実績と、令和7年度の事業の取組予定をご報告する。

【質疑応答】

委員：文化庁を新年の挨拶で訪問し、岡崎市に文化財が多く残っているとご認識頂いている事を知った。今後も保存活用に努めて欲しい。

委員：郷土読本を小中学生向けに刊行していると伺っており、個人的に読みたいと思っている。

事務局：販売は恐らくしておらず、教材として作成していると思われる。入手できるか確認したい。

委員：図書館でもお読みいただける。

委員：埋蔵文化財の常設の展示施設が無く、市民が見る機会が無い点を危惧している。遺物の保存・保管の状況について、併せて伺いたい。

事務局：機会を捉えて遺物を展示し、ご覧頂いている。保存・保管については、一括して遺物を保管する施設で保管している。

委員：岡崎市は県内で有数の報告書刊行自治体である。刊行した報告書を委員が読む機会があると良い。新規に刊行した報告書等を委員会内で回覧し、ご希望の方にはお渡ししてはかがか。

事務局：ご指摘のとおり検討したい。

委員：報告書の電子化やインターネットでの公開について併せて検討して欲しい。

- 事務局 : 承知した。
- 委員 : 無形民俗文化財の継承の為の自治体の関わり方を今まで以上に考える必要があると感じている。額田地域の民俗芸能等の現況調査を行い、全容をはっきりさせた上で保存・活用に向けた施策を講じるべきである。
矢作川と人々の暮らしは本市の歴史を考える上で重要な視点である。もう一度捉え直す作業が必要であると考えている。
- 委員 : 無形民俗文化財の支援における調査・記録・活用の措置についてご意見いただいた。国の無形民俗文化財に指定された場合のメリットを伺いたい。
- 事務局 : 国の無形民俗文化財に指定された場合、使用可能な補助金の幅が広がると考えている。
- 委員 : 指定前に補助メニューを確認し、上位指定のメリットを整理すべきである。
- 委員 : 瀧山寺鬼祭りについては、指定前の調査で記録保存を行い、報告書刊行に際して国より補助を受けた。調査の時点から補助を得られる点が、国の無形民俗文化財に指定されるメリットと言える。今後も補助を活用し、継承を強化できると考えている。
- 委員 : メリットを整理し、地域と共有できると良い。
- 委員 : 滝町の方と協議する中で、子供たちへの継承を意識していると感じている。瀧山東照宮の保存修理事業を現在行っているが、次回の修復の際は子供たちが担い手となる事を意識し、イベント等で小中学生を呼び込む工夫をしている。また、瀧山東照宮の保存修理事業を通して地域の連携が深まったと感じており、これらのご地元の取り組みは重要なものと感じている。
瀧山東照宮の完成等を受け、4月27日から5月11日まで、瀧山寺の秘仏薬師如来を御開帳する。ぜひ足をお運び頂きたい。
- 委員 : 市としても広く周知して欲しい。
- 委員 : 本計画は文化財の保存・活用を目標としているが、実績報告を何う限り活用が手薄であると感じる。活用面を強化して欲しい。
瀧山寺鬼祭りの国指定の実績報告書の記述を「国の重要文化財」から「国の重要無形民俗文化財」へ修正して欲しい。
未指定文化財の調査について、信光明寺と菅生神社の建造物調査が未調査である。今後調査をして頂きたい。
- 事務局 : 今年度は舘播神社の調査を実施しており、信光明寺と菅生神社については今後の調査案件と捉えている。引き続き、建造物の価値付けを進めて参りたい。
- 委員 : 博物館の常設展示の実現に向けてスタートを切っていただきたい。そのためにも、令和の市史編纂に向けた体制を作って頂きたい。
旧本多忠次邸や旧本宿村役場、旧額田郡公会堂及物産陳列所の活用について、建物の価値を踏まえた活用強化を図って欲しい。建造物の持続可能性を活用面から高めて欲しい。
- 事務局 : 措置が保存に偏っている点は課題であると認識している。市所有の歴史的建造物の活用強化に向けて、運営の見直し等を図っていきたい。
- 委員 : 旧額田郡公会堂及物産陳列所について、劣化が進み保存修理事業の必要性を感じている。早期着手を図って欲しい。
- 事務局 : 早期の事業着手を目指して、今年度物産陳列所内の物品整理を行った。また、来年度看守人室の曳家を行うことで、事業着手に向けた環境整備を図る。

- 委員：報告書を刊行した際県へ頂ければ、県の文化財保護審議会委員や文化庁へ共有することができるためご協力頂きたい。
建造物の保存修理事業の際、防災設備も併せて整備をご検討いただきたい。
無形民俗文化財の後継者育成について、伝統文化出張講座という取り組みを行っている。ご活用頂きたい。
- 委員：郷土読本は岡崎の歴史を知る上で非常に良い本であり、子供たちがどのように岡崎を捉えているのかを知るために、文化振興部内の学芸員へ共有したところである。
大河ドラマの放映より二年が経過したが、庁内の取り組みとして徳川家康の顕彰を引き続き行っている。また、岩津城址の保存団体が中心となり、来年の11月に大きなイベントを企画しており、部としても協力。
- 委員：郷土読本の庁内での共有や、デジタル化が出来ると良い。
- 委員：文化財の活用に力を入れて欲しいと言うご指摘を多く頂いた。経済振興部としても文化財の積極的な活用を図りながら経済効果を高めたいと考えており、有難いご指摘と考えている。岡崎城跡発掘調査パネル展について、調査成果をしっかりと発信して頂いており、興味のある方の来場を促す取り組みであり有難く感じる。アンケートについて、ビッグデータ等を活用した分析を行う場合はご協力可能である。
中山間地域について、地域おこし協力隊という方々が市外から移住をして魅力発信を行っている。数名の方が猪垣の修繕に参加し、SNS等での発信を行っておられ、文化財の活用に向けた良い機運であると感じている。
- 委員：能見神明宮大祭の維持継承に向けて、通称町（祭礼組織内での区分）ごとの参加者の人数や子供の参加数なども報告書に記録して頂けると良いと思う。
- 事務局：参加者の人数を全て記録することは難しいが、可能な限り詳細な記録を報告書に残して参りたいと考えている。
- 委員：かつて能見に住んでいたが今は能見に住んでいない方で、祭りに参加する方が増えている。祭礼の魅力を高める事で、地域に住んでいない方も参加する状態を維持できると良い。
- 委員：能見に住んでいない方の子供への継承が課題である。祭礼の継承に向けて、シミュレーションを組めると良い。
- 委員：措置の一層の推進に向けて、委員の皆様からご支援を頂きながら、活用面も強化して取組を進めて参りたい。
- 委員：本計画の措置全体を俯瞰して見つつ、措置の不足箇所を確認しながら事業を進捗できると良い。
岡崎市文化財保存活用地域計画の事業については、本日の議事を踏まえて進捗するという事でよろしいか。
- 委員：異議なし。

2 その他

次回の協議会は来年度に開催予定である。